

感染予防にかかる松尾グラウンドでの試合における取り決め

1. 【ベンチ、応援席】

- ・ベンチを拡張する。(密とならぬよう選手及び指導者の間隔をできるだけとるため)
- ・保護者等の応援は本部のある土手のうえとし、人と人の間隔を極力 2m以上とりマスク着用のうえあまり大きな声を出さないようお願いします。

2. 【試合前】

- ・本部挨拶はしない。試合後も同様とする。
- ・試合開始予定時間の30分前に監督・主将はマスク着用のうえ本部へ行き、打順表の提出と攻守を決定する。(2m以上の間隔を保ち、握手はしない)

3. 【試合中】

- ・ベンチへ入れる者は、選手、代表、監督(30)、コーチ(29, 28)、スコアラー1名、給水等補助員(母2名以内)とする。
- ・試合時間は1時間20分(Jの部は1時間10分)とし、1時間15分(Jの部は1時間5分)を経過して新しいイニングに入らない。
- ・試合開始及び終了時の挨拶は行わない。球審から試合開始の合図があったら、後攻チームの選手はベンチから守備に就く。終了時も同様グラウンドの外へ出る。
- ・代表・監督・コーチ・スコアラー・給水等補助員は試合中もマスクを着用する。
(ただし、熱中症には十分注意すること)
選手は熱中症のリスクを考慮しマスクは不要とする。
- ・円陣は組まない。ベンチ内ではできるだけ間隔をとる。
- ・肌が触れ合うハイタッチなどは行わない。
- ・飲み物の回し飲みやコップの共用はしない。

4. 【試合後】

- ・試合終了後は速やかに撤収し、帰路につくこと。
- ・ゴミは放置せずチームで責任をもって持ち帰る。

5. 【審判員に関して】

- ・ 球審・塁審ともマスクを着用する。(鼻の露出は認める)
ただし、熱中症の危険、メガネが曇る等、判定に影響を及ぼす恐れがある場合は、両チームの監督に了承を得たうえで、試合開始又は途中から着用しないことを認める。(この場合、コールは小さく、ジェスチャーは大きくする)
- ・ 試合開始予定時間 30 分前に本部で行う攻守決定に立ち会い、打順表の交換を行う。
- ・ 試合開始・終了時の整列及び挨拶はしない。
- ・ 両チーム選手をベンチに入れ、試合開始を告げ後攻チームの選手を守備に就かせる。
- ・ 投球練習後、球審の「プレイ！」で試合開始。
- ・ マスクを着用すると選手にコールの声が聞こえにくいため、大きなジェスチャーなど、身体全体で表現する。(ただし、熱中症には十分注意すること)
- ・ 試合が完了したら、両チーム選手にベンチに入るよう促し、球審の「ゲーム！」で終了する。
- ・ 両チームにグラウンド整備をお願いし、速やかにグラウンドから撤収するよう促す。
- ・ 試合当日の天候・気温、試合の展開により、審判員の判断で適宜休憩・給水タイムを5分程度とる。

以上